

月光節約時制!!

“Moonlight Saving Time”

『日光節約時制』(Day-light Saving Time) といふ言葉は可なり以前から耳にする所であり、歐米の諸國が大戦以來「夏期時刻」(Summer Time)として實行してゐるのは即ち之れであるが、こゝに又「月光節約時制」(Moonlight Saving Time) といふ聲を聞くのは珍らしい。——しかし、之れは日光節約とはよほど意味が違ふものである。といふのは：

米國カンザス州のカルトエル Caldwell といふ町では、町長 Baker 氏の提議により、町會で此の法案を 昨年決議したもので、つまり、あかるい月の光りが地上を照らしてゐる夜には、街路の電燈を 消すことによつて、電燈會社に町から拂ふ料金を約 25 パーセント節約しやうといふのである。何だか時代離れた珍案のやうではあるが、しかし、時は今、米國諸都市でも 財政上の非常時であるので、こんな事まで 實行されることになつたと、解されるべきである。

“つき”

月は“つき”と讀む。即ち、日本式ローマ字でかく“Tuki”であつて、國語學も一般に認めてゐる通り、時——とき、即ち“Toki”——と、語源が同じである。昔しから我が國では、月を時計として、日々の時を計つた證據である。して見ると、今こそ天文は一般人の念頭から遠ざかりつゝあるけれど、昔の日本人は皆一通りの天文家であつたと見るほかは無い。



西洋でも、英語の Moon, 獨語の Mond, 蘭語の Maan など、皆之れは Measure, Messen 等と同じ語源を持ち、やはり昔しは月によつて時を計つたものだと言はれる。